



砂防えん堤

Q&A



Q 砂防えん堤はどんな働きをしているの？

砂防えん堤は上流から流れてくる土砂を受け止め、貯めるものです。土砂を貯めることで両岸の山すそを固定し、山腹の崩れを押える働きをします。また、砂防えん堤上流の傾斜が緩やかになることにより、洪水時の流出土砂を調整して土砂災害を防ぐのです。

その①

洪水時の上流から
流出する土砂を貯留する

その②

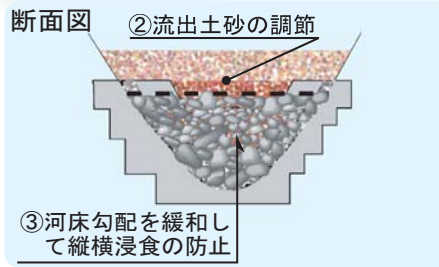
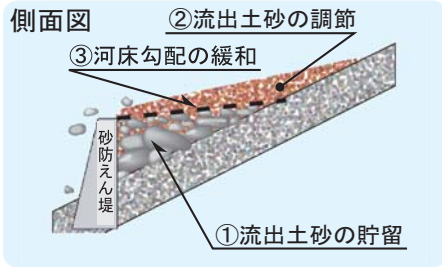
洪水時の流出土砂を調節する
(洪水時は貯留し、減水時等に自然に流下)

その③

急流を緩和して
侵食を防止する

その④

河床を高め、
山すそを固定する

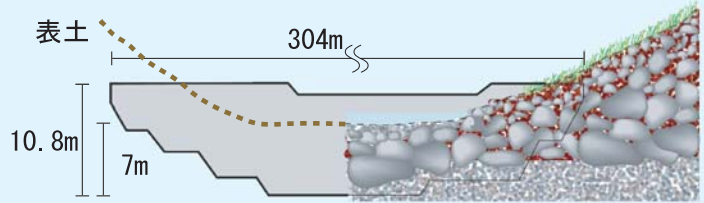


Q 砂防えん堤の下はどうなっているの？

見えていない砂防えん堤の下部分はとても大きいのです。大地に深く根づくことで土砂災害からみなさんを守っています。

砂防えん堤の下部分は
とても大きい

戸蔦別川第1号えん堤



砂防えん堤はその川が大きさにによって高さや長さ、幅などがちがいます。その場所にあった砂防えん堤を考えてつくっています。

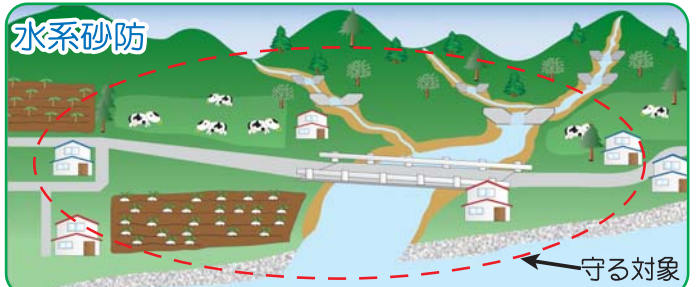
STUDY!! いろいろある砂防

不透過型 戸蔦別川第8号えん堤



不透過型は土砂を受け止め、土砂を貯めることで緩やかな勾配にし、土砂災害を未然に防いでいるの。

水系砂防



水系砂防とは水系全体、つまり上流から下流にいたる河川全体を災害から守るために、土砂の生産と流出を調整するための砂防工事です。十勝川の砂防は水系砂防です

透過型 戸蔦別川第5号えん堤



透過型は、災害になり得る大きな洪水に対しては一度土砂を貯めて、災害に至らないような中小の洪水や、大きな洪水の減水のときに貯めた土砂を下流に自然に流すんだよ。

地先砂防



地先砂防は特定の保全対象を土砂災害から守るための砂防工事です。たとえば山間の集落や、小さな谷の出口にある人家や施設を土砂災害から守るために行うのです。